

## 『学び合い』おにぎりの会

2015年2月15日（日）14:00～16:30

@都立上野高校

### 『学び合い』の魅力と高橋学級の様子

相馬市立日立木小学校 高橋尚幸

#### 話題①『学び合い』の魅力

すごく気になる子どもがいた。  
この子をそのまま中学校に進ませたくない。  
そこで『学び合い』を始めた。

#### ●学習レポート

作文のようなもの。

1学期 30種

2学期 40種

ex)梨作りについて、分数について、健康で気をつけること etc...

4月の頭には、作文大嫌いな子がいる。  
でも、やっているうちに全員書けるようになる。  
なぜ書けるのか？  
→『学び合い』のクラスだから

#### ●『学び合い』の魅力

教師の説明や指示を減らす  
→児童の話し合いが増える  
→わからない子がわかる、わかる子は理解を深める

活発だが、落ち着いた話し合い

とことん教師の説明や指示を減らす  
→児童の話し合いが爆発的に増える

→学力も人間関係もどんどん良くなっていく。

※算数で、「お前のおかげでわかったよ」「そんなことないよ、お前が頑張ったからさよ」と抱き合っている。すごい。

### ●一人も見捨てないについて

『学び合い』の根幹は、一人も見捨てない、という願いである。

一人を見捨てる集団は、二人目、三人目を見捨てるよ。それは、自分かもしれないよ。

→小4～6の男子4割強、女子5割強がいじめ被害

国立教育政策研究所 いじめ追跡調査 2007-2009

※学校の教師は、いじめられたことのない人が多い？学校生活を楽しめた人が多い？

※授業の中にいじめの種があるのではないか？

どうしてもわからない子をどうするか？

もうわかっている子をどうするか？

その中間のあまり気かけられない子をどうするか？

→その答えを『学び合い』が示してくれた。

※できない子から先に指して、できる子で締めるような展開。意図的指名。中間層はあまりからまない。これって、一人も見捨てないどころか、全員見捨てているのでは？

## 話題② 高橋学級の様子

※『学び合い』に出会う前から、学級を民主主義にしたいと思っていた。手を挙げて答えても、「そういのもあるね」といって、黒板に意見が全く書かれない子がたくさんいる。「いい意見」だけ黒板書くようにする。でも、全員の意見を黒板に書くと授業が成立しない。

クラスにいる全員の「一票」を同じにしたい。

教師一人の力＝子ども一人の力

教師一人の力<子ども集団の力

子ども集団は、教師一人と比較して、より有能である。

### ●学級のイメージの変化

教員7割の子どもー残りの子ども

でも、これを実現する力は教師にはない。

教員—2割の子ども—残りの子ども

※教師はもっと生徒と距離を置きたい。

●教師が2割の児童を掴む

なぜ先生が教えないのか？

この授業のメリットは何か？

なぜ、一人も見捨てないことが重要なのか？

→これらを理解して行動する「学級のトップランナー」を作る。

※誰がトップランナーになるのかは全くわからない。

※教師は、それぞれの子どもが何を考えているかを全て把握することはできない。

→2割の子が6割の子を動かす

→いつの間にか2割が巻き込まれる

『学び合い』なんて嘘くさい、先生に教えて欲しい、人と関わることが苦手

→一人だったらやらない、みんながやっているからやるか

※『学び合い』に反発する子は、単に不安だけではないだろうか？わからない時に聞ける友達がいないと不安だろう。だから反発するのは？

※教師は作文を書けない生徒に作文を書けるように指導することはできない。でも、その生徒が作文を書けるようにする集団を作ることできる。

●実際の流れ

教師による語り 1～3分

課題の提示 1分

※学習進行表配って注意点を話す

課題に取り組む

※全員達成を目指す

●課題の提示

学習進行表を配るだけ

1時間扱いでも、10時間扱いでも同じ。

紙一枚でよい。

### ●児童による課題解決

※なぜ高橋学級では算数の時間に算数の話しかしないんですか？すぐ他の話をしちゃうんですけど・・・。

→でも、算数の時間ですからね・・・。うまく説明できない。

「みんなが勉強しているから」

### ●教師による評価

テストとレポートで評価

※全員 80 点以上が最低限ノルマ

両立することってなかなか難しい。

※自分自身があまりテストが好きではなく、作文が好きだから、そっちもやりたい。

だから、共に学び続けようぜ。

## 話題③ 実際の授業の映像を使って

2 時間ものの 2 時間目

1 時間目の方が動きが活発。

予習してきた子の周りに集まって聞く

2 時間目は動きが少なくなる。

最後のあたりには動きが活発になる。

レポートのために確認作業をしているらしい。

※適当なことを書くと、意味不明と書かれる。それが悔しいから頑張る。

時間配分できる子がレポートを書き始める。

それを見て周囲の子も始める。

教師が指示する必要はない。

※わからない子は人に聞くだけにならないのか？

→わからない子も、辞書を使ったり、自分なりにわかろう取り組んでいる。

教える側子が「丸暗記してもしょうがないよ」と教えてくれる。

### ●保護者との関係

教えないの授業で、勉強が苦手な子が不安

→A42 枚分の手紙を書き、意義を伝えた。

今では、一番『学び合い』でよかったと言ってもらえている。

●悩んだり苦しんでいるとき

後輩に相談する、話をする

→偉そうに語ると、「自分もやらないといけないなあ」と思える。

今の授業を見ると、修正したいところがたくさん。

4月からはまた変わるだろう。